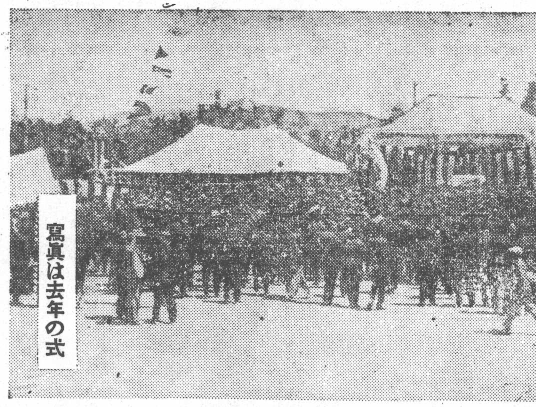
京都帝國大學新聞・號外



寫眞は去年の式

十五日は祝日！歡喜の坩堝へ

わが師よ友よ來りて　ともにことぶき祝へ

さはやかな光にみちた氣流は、秀峰比叡のかなたに流れ、萬象の生命の躍動する五月――あらゆるマスクをかなぐりすてて、赤裸になつた教官、職員、學生、生徒が農學部構内の大グラウンドによりつどひ、一日を飲み、かつ食ひ、つぎつぎに展開される餘興に爆發する笑聲、拍手は高らかに沖天にこだまするであらう、本學創立を記念するわれらの祝日は愈々あと三日に迫つた

本學創立紀念日は六月十八日であるが、時既に梅雨期で、戸外における大衆の會合に不便すくなからず、ことに飲食物の準備に、萬全を期しがたい關係もあり、一月くりあげて五月第三日曜を、永久に本學「紀念祝日」とさだめ、毎年盛大な祝賀式と、園遊會を催して來たのであるが、今年もその日をあと三日に控へて、萬端の準備殆んど成つた、その朝九時中天たかく炸裂する煙火は、よろこびの日の第一報だ、十時開場、柵をひらけば待ちかねた大衆は一度にどつと殺到しやう、十一時がなると別記の順序で式が始まる、三十分にして式が終ればたゞちに園遊會零時半から茂山社中狂言「二人袴」を先頭に、萬歳、魔奇術と餘興のプログラムが次第に進んで、三時チョンくと日活時代劇の木の頭がはいるところが當日のクライマックスにならう、さらばいざ、盛りあがるよろこびの坩堝のなかへ！わが師よ、友よ、いざ！

祝賀式次第

（午前十一時から半時間）

開會の辭	大野　熊雄
式　辭	新城　總長
教職員總代祝辭	鈴木　虎雄
卒業生總代祝辭	新庄祐次郎
在學生總代祝辭	伊達　亟夫
有志祝辭	…………
閉會の辭	大野　熊雄

式も餘興も　大舞台で

會場は別に詳しく圖示しておいたが、場内東寄りのところに、間口十間、奧行六間の大舞台をしつらへ、こゝが式場にもなれば、餘興場にもつかはれる

模擬店の數々

場内にちらばる模擬店のかずくはこれも別圖に示しておいたが、そこで引かへる品物は

▽……辨當

▽……ビール（大びん）又はサイダー

▽……おでん

▽……饅頭

（いづれも引換は一時頃までに）

の四種類であるが、サイダーをえらぶ人には、現品引換のときに、しるこ券一枚をお添へすることになつてゐる

その他賣店も　澤山出させる

模擬店とならんで、今年は賣店を出させることになつた、其種類は

▼喫茶店（冷紅茶、コーヒ、アイスクリーム、サンドウキッチ、ソーダ水、菓子）

▼しるこ店

▼すし、みつ豆店

こゝは有料であるだけに、時間に制限なく、閉場まで自由に利用されたしとのことである

餘興順序

(1)	狂言	零時半から
(2)	萬歳	一時から
(3)	演劇	三時から

雨天の場合　はどうするか

一月くりあげて日を選んだだけに毎年五月中ごろは、さつき晴れがつゞいて、今まで祝日を雨にさまたげられた例はないが、もし當日大雨の場合は、式は本部階上大ホールで擧行し、その他各種の催しも、それぞれ適當の室をえらんで實行、又小雨の場合はグラウンドで決行する

當日會場で別にプログラム等はお渡し致しません、この號外をお持ちになれば便利です

まへ景氣澤山で　切符賣り切れか

明十三日午後四時しめ切る

園遊會の切符は、何分幾千と言ふ數なので、辨當その他の準備もあり、明十三日午後四時を以て、申込を締切ることになつてゐる、今年はなぜかまへ景氣澤山、うり切れにならぬ間に、左記箇所のうち最寄り便宜のところへ申込んで、會費と引かへに、切符を受取られたしと

▽各學部事務室

▽學生課（學友會）事務室

▽附屬醫院事務室

▽寄宿舍事務室

▽購買組合賣店（正門西）

▽學生食堂（共濟部經營）

▽あづまや食堂（本部地下室）

學生は八十錢　教官一圓五十錢

會費は左の如く、學生は八十錢であるが、この八十錢は丁度一人の飲食費に當つてゐる

▽學生生徒　金八十錢

▽職員及び學内に在る卒業生　金壹圓

▽教官、高等官、同待遇者及び學外に在る卒業生　一圓五十錢

飲物の選擇は　切符買ふ時に

なほ申込と同時にのみものはビールにするか、サイダーをとるか、一つをえらび、それに相當した券を受けとられたしと

日活の大熱演は

時代劇「幕末の京洛」

はやし、なりものを加へて　三十名の大一座

午後二時の煙火を合圖に、當園遊會餘興中随一の呼び物として、毎年多大の好評を博してきた日活の時代劇「幕末の京洛」がはじまる、舞臺一面に黒のバック、中央よりやゝ上手寄りに柳の大樹、その少し下手に、タソヤ燈籠を立て、すべて夜の加茂川堤の光景、そこでつるぎと戀の一大活劇が演出される、俳優は同撮影所時代劇部をすぐつて二十餘名、はやし鳴物入りの大一座になる、當日の配役および梗概は左の如し

＝配役＝

神原龍太郎　淺香新八郎
藝者千代菊　木下千代子
舞子　光葉　橘　昇子
桑名藩士浪山新吾　尾上蝶二郎
同　弟新之助　久松　實
稲妻　お仙　川上　彌生
目明し文吉　但馬　貞雄
新撰組隊士　小森　敏
同　松本龍之助
同　伊藤光一郎
同　河崎新太郎
勤王志士　大ぜい
志士山脇周馬　春日陽二郎
桂　小五郎　山本禮三郎

＝梗概＝

勢州桑名の藩に神原龍太郎といふ武士があつた、彼は夙に勤王の志あつく、常に尊王をとなへ、同藩の士浪山新十郎と、思想上のあらそひから、遂に彼をうち果して、京洛の地に走り、倒幕黨の一味に加盟して、桂小五郎の指揮を受け京洛の地を東奔西走してゐるうちに、祇園の藝妓千代菊と、相思相愛の仲となつた

こゝにまた、龍太郎の美貌を戀したつてゐた幕府の間諜稲妻お仙は、龍太郎のあとを追つて京地に上り、機をねらつて龍太郎に接近したが、龍太郎には、既に千代菊と言ふ愛人があり、お仙は戀のかなはぬ意趣ばらしに、走つてこれを新撰組の本營に訴人した

すはこそものと、新撰組の一隊は、時を移さず殺到し、こゝ加茂川の土手に、龍太郎一人をおつとり圍んで、劍の雨をふらした

柳のかげに身をかくした稲妻お仙は、新撰組に應援して、龍太郎を短銃で狙ひうつたが、第一彈は命中せず、龍太郎は奮戰して隊士をみなごろしにしたが、この時お仙のねらひすました第二彈のため遂に龍太郎は、王政復古をさけびながら絶命するといふ、革命前夜の一シインだ

園遊會・スナツプ

これは昨年の園遊會で總長始め諸先生方がおでんを召あがるところ

茂山社中の　狂言は

「二人袴」と決定

餘興のトップをきつて、零時半からはじまる狂言は、クラシカルな京都にふさはしい茂山社中の至藝「二人袴」と決定した、むこ入りに袴をわすれたむこの兄が、むことふたりで、其の一つ袴をはいてさまぐな滑稽を演ずると言ふ、頗る簡素な味を持つたもの、京でなければちよつと見られぬものだけに、映畫を見なれた人々には、目先きが變つて、興味の深いものがあらう、出演者は茂山七五三、茂山政次の二少年

日の丸會から　くり出す萬歳

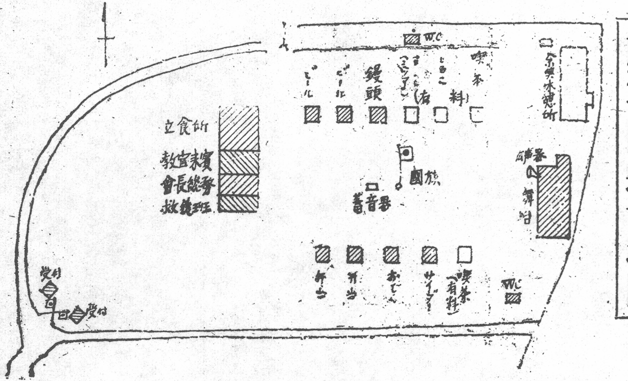
と……大魔奇術

民衆娛樂の王座をしむる萬歳は、ことしは日の丸會の一行十餘人、午後一時の煙火を合圖に、入れ代り立ち代り二時間にわたつて、左の通りもり澤山のプログラムで、おへその宿がへに、それこそ文字通り大車輪の活動をつゞけることになつてゐる

ニコニコ萬歳　市川順若
　　　　　　　市川政子
珍藝　日の丸富士若
　　　日の丸家一富士
三人茶番　日の丸家富士彌
兵隊ナンセンス漫歳　高田ハチロー
　　　　　　　　　　郡シンペー
モダン時事萬歳　市川淺丸
　　　　　　　　市川笑子
少女萬歳　ペチヤ樂子
　　　　　惠美子
海外歸朝大魔奇術　松旭齋南洋
　　　　　　　　　松旭齋南玉

寫眞は日活時代劇に、出演する淺香新八郎、木の下千代子、橘昇子、川上彌生、山本禮三郎の諸優（上から）

祝賀・園遊會場圖



昭和七年五月十二日發行
發行所　京都帝國大學　學友會新聞部
發行編輯兼印刷人　入山雄一